2020 年 9 月 7 日

請求書の記入説明書

積水工業株式会社

請求書様式は弊社より注文書が発行されている場合と、発行されていない場合で異なる様式に分かれます。

請求書作成の際は以下の記入要領、記入例を参考にしてください。

1．注文書が発行されている場合	2～6 ページ
2．注文書が発行されていない場合	7～8 ページ
費目コード表	9 ページ

【様式のダウンロード】

請求書の様式は弊社ホームページお知らせに掲載されております。下記 URL よりダウンロードしてお使いください。

タイトル：請求書様式変更のお知らせ
URL：https://www.sekisui-ind.co.jp/information/2212

なお、ダウンロードできる内容は以下の通りです。

① 請求書の記入説明書（PDF 版）
② 請求書（PDF 版）一式
- 請求書（注文書あり）
- 明細書（注文書あり）
- 請求書（注文書なし）

③ 請求書（Excel 版）一式
- 請求書（注文書あり）
- 明細書（注文書あり）
- 請求書（注文書なし）

Excel 版に直接入力した場合は必ず印刷をしてご提出ください。
ファイルでの受領は行いませんのでご注意ください。

④ 費目コード表（PDF 版）

【業者コードについて】

請求書には業者コードを必ず記載して頂きます。
業者コードは当説明書を郵送した際の宛名ラベル、注文書に記載されています。

1. 注文書が発行されている場合

① 注文書の変更点

A） **明細が費目コード単位になる**

注文書の支払残額の管理を**費目コード**(*1)ごとの管理に移行するため、注文書は図 1 のように費目コードごとの発注金額が提示されるように変更されます。

B） **注文番号**

注文番号は工事番号（8 桁）＋連番（3 桁）の１１桁になります。

例） **１５４３００１１００２**　（A）が工番、（B）が連番

（A）　（B）

*1　費目コードは弊社独自の予算管理コード体系。表 4 費目コード表参照。

② 請求書（注文書あり）

注文書が発行されているときは『**請求書（注文書あり)**』の請求書をお使いください。

図 2 の記入例、表 1 の記入要領を参考に記入してください。

費目別の『今回累計請求額』が発注金額を超える場合は支払を停止させて頂くことがあります。貴社においても費目別の発注金額と請求金額を厳密に管理されるようお願いいたします。

なお、注文書郵送時に注文内容等が印字された『**請求書（注文書あり)**』が同封されています。それをコピーしてご利用ください。記入の手間が省けます。

③ 明細書（注文書あり）

納品物等の明細がある場合は『**明細書（注文書あり)**』に図 2 の記入例、表 2 の記入要領を参考に記入し、添付してください。

費目が 1 種類の場合は貴社様式の請求書を明細として結構です。

費目が 2 種類以上となる場合は以下の規則に従ってください。

A） 費目ごとにまとめる。

B） 費目ごとに小計行を挿入する。

なお、**貴社の請求書が A)、B)を満たす場合は貴社様式の請求書を明細として結構です。**

④ 旧注文書に対する請求について

新システム稼働以前に発行された注文書に対する請求は以下の通りとします。

A） 請求書は『**請求書（注文書あり)**』をお使いください。記入要領は上記参照。

B） 費目は工事担当者から特に指示がない場合は「**1990：機器素材用**」、または「**3990：工費用**」を記入してください。

図 1. 注文書サンプル

サンプル

注文書

2020年8月15日

注文番号：　15423077004

〒107-0062
東京都港区青山1－21－15

（発　注　者）

大山総業株式会社　　御中

積水工業株式会社

（貴社業者コード：200010）

業者コード

〒153-0065 東京都目黒区中町2-32-5
本社
793-5711　FAX:03-3793-1298

新しい注文番号

下記の通り注文いたします。お引き受けの際は別紙注文請書をご提出ください。
下請負契約の場合、この注文書に記載のない条件については、契約要項の定めによります。

契約金額　税込　¥9,130,000　　税抜　¥8,300,000　　消費税　10%　　¥830,000

【注意事項】
弊社が下請負工事の場合、元請会社現場代理人（現場所長）の要望及び
指示事項については、現場関係者の一員として必ず協力をすること。
特に弊社下請工事に係らず、下記に示す事項は遵守願います。
①現場内における労務安全関連指示事項
②現場内の環境の整備
（整理整頓・定期清掃・朝清掃・一斉清掃・作業完了後の清掃片付け）に関する指示

工事番号

工事担当者

確認	作成

工事番号-枝番	15423077	-	00
工事担当者	積水　一郎		
工事名	積水工業独身寮改修工事		
件名	パッケージ/換気扇納入設置工事		
施工/納入場所	東京都目黒区上目黒2-36-9 目黒積水寮		
工期/納期	2020/8/15	～	2020/9/25

支払条件
□請求締日　25日　　□材料：納品100%支払
□支払日　翌月 25日　　□労務，外注
□振込　100 %　　・出来高払：累計出来高の90%支払
□手形　0 %
□安全協力会会費　0.15 %　　・完了時　：100%支払

備　考
貴社見積書　AAA-1234567による

費目コード	費　目　名	金　額
1000	パッケージ型空調機	6,500,000
1050	換気扇類	800,000
3060	冷媒配管工事	1,000,000

費目の明細

図 2. 注文書あり記入例

請求書（注文書あり）（契約工事出来高調書兼買掛金支払依頼伝票）

請求日(西暦) 2020 年 8 月 25 日 請求番号 A—１２５５１

積水工業株式会社 御中

下記の通りご請求致します。

注文書の内容を転記する

（単位：円）

工事番号－枝番	15423077	— 00	工事名称	積水工業独身寮改修工事	
注文番号	15423077004		工事担当者	積水 一郎	（積水工業工事担当者）

業者コード	200010		
業者名	大山総業株式会社		印
住所	東京都港区青山１－２１－１５		
TEL	03-3322-8899	FAX	03-3322-8877
部門/担当者	東京支社 山田 太郎		

契約内容			出来高請求額						積水工業社内処理欄	
			前回迄累計請求額		今回請求額		今回累計請求額			
費目コード	費目名	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額
1000	パッケージ型空調機	6,500,000	38.5	2,500,000	30.8	2,000,000	69.2	4,500,000		
1050	換気扇類	800,000	0.0	0	100.0	800,000	100.0	800,000		
3060	冷媒配管工事	1,000,000	35.0	350,000	30.0	300,000	65.0	650,000		
税抜小計		8,300,000	34.3	2,850,000	37.3	3,100,000	71.7	5,950,000		
消費税等	10 %	830,000		285,000		310,000		595,000		
合計		9,130,000		3,135,000		3,410,000		6,545,000		

前回請求時の**今回累計請求額**を転記

内訳がある場合は**明細書（注文書あり）**を添付する

【記入要領・注意事項】
・当様式は当社より注文書が発行されている場合にご利用ください。
・二重線枠内、二重下線欄をご記入ください。
・工事番号、工事名称、注文番号、工事担当者、業者コードは注文書より転記してください。
・請求書は工事番号、注文番号ごとに作成してください。
・工事名称、工事担当者は必ずご記入ください。
・費目欄は費目コード表より該当するコードを必ずご記入ください。
・1費目1行としてください。
・材料等の明細がある場合は請求明細書（注文書あり）を記入し添付してください。内訳が1費目の場合は貴社請求書で代用してください。複数費目の場合は費目ごとにまとまっていて、費目別小計が表示されていれば貴社請求書を内訳として添付してください。
・前回迄累計請求額は前回請求書の『今回累計請求額』を転記ください。
・今回累計請求額＝前回まで累計請求額＋今回請求額
・%欄出来高率です。各金額÷契約金額で求めてください。
・締日は毎月25日、請求書は月末必着、翌月25日払とします。

チェック	入力	決裁	承認	承認	担当	総務受付

第1版(2020/09)

明細書（注文書あり）

請求日(西暦) 2020 年 8 月 25 日 請求番号 A—１２５５１ 頁 1

工事番号－枝番	15423077	— 00	工事名称	積水工業独身寮改修工事	業者コード	200010	
注文番号	15423077002		工事担当者	積水 一郎	（積水工業工事担当者）	業者名	大山総業株式会社

費目コード	日付	摘要	数量	単位	単価(円)	金額(円)	積水工業社内処理欄 査定・値引	評価金額	費目/立替先
1000	7/31	大映電気製エアコン 天井カセット型 5Kw	5	台	200,000	1,000,000			
1000	7/31	大映電気製エアコン 壁掛け型 3Kw	10	台	100,000	1,000,000			
1000		【費目別小計】				2,000,000			
1050	7/10	三ツ矢電機製換気扇 キッチン用フード付き	10	台	50,000	500,000			
1050	7/10	三ツ矢電機製換気扇 トイレ用	10	台	12,000	120,000			
1050	7/10	三ツ矢電機製換気扇 和室天井用	5	台	36,000	180,000			
1050		【費目別小計】				800,000			

費目ごとにまとめる

費目別小計を挿入する

【記入要領・注意事項】
・当様式は請求書（注文書あり）の請求明細書としてご利用ください。
・二重線枠内、二重下線欄をご記入ください。
・右上頁欄にページ番号を1～ご記入ください。
・工事番号、工事名称、注文番号、工事担当者は必ずご記入ください。
・費目欄は費目コード表より該当するコードを必ずご記入ください。
・明細は費目コードごとにまとめ、『小計』行を挿入し、費目合計を必ずご記入ください。

第1版(2020/09)

表１．請求書（注文書あり）の記入要領

項目名	必須項目	説明
【ヘッダー部】		
請求日	○	請求日を西暦で記入してください。
請求番号		貴社の請求番号を記入してください。
工事番号 - 枝番	○	注文書より転記してください。
工事名称	○	注文書より転記してください。
注文番号	○	注文書より転記してください。
工事担当者	○	注文書より転記してください。
業者コード	○	注文書より転記してください。 **※当説明書を郵送した封筒の宛名ラベルにも記載されています。**
業者名／押印	○	貴社名を記入し、押印してください
住所	○	貴社の住所を記入ください。
TEL/FAX	○	貴社の電話、ファックス番号を記入ください。
部署／担当者	○	貴社の部署名、担当者名等を記入ください。
【明細部】		
費目コード 費目名	○	注文書より**１費目につき１行**で転記してください。
金額（契約金額）	○	注文書より同じ費目の金額を記入してください。
前回迄累計請求額 出来高率(%)	○	前回請求時の『今回累計請求額』欄を転記してください。 前回貴社の請求額通りに支払われていない場合は支払通知書等で確認するか、弊社工事担当者に確認してください。 出来高率=前回迄累計請求額÷契約金額
今回請求額 出来高率(%)	○	弊社工事担当者と出来高を確認し決定してください。 内訳がある場合は『明細書（注文書あり）』を記入し、明細書の【費目別小計】と今回請求額が一致するようにしてください。 明細書の記入は表２を参照してください。 出来高率=今回請求額÷契約金額
今回累計請求額 出来高率(%)	○	前回迄累計請求額+今回請求額を記入ください。 出来高率=今回累計請求額÷契約金額 なお、**出来高が１００%を超える場合は『過払い』です。支払停止となりますので、弊社工事担当者にご相談ください。**
【合計部】	○	上記の契約金額、前回迄累計請求額、今回請求額、今回累計請求額それぞれについて下記項目を計算してください。
税抜小計	○	各金額の合計を記入してください。
出来高率（%）	○	出来高率=各税抜小計÷契約金額小計
消費税等、税率	○	税抜小計×消費税率を記入してください。
合計	○	税抜小計＋消費税額を記入してください。

表２.『明細書（注文書あり)』記入要領

項目名	必須項目	説明
【ヘッダー部】		
請求日	○	請求日を西暦で記入してください。
請求番号		貴社の請求番号を記入してください。
頁	○	ページ番号を１から記入してください
工事番号 - 枝番	○	「請求書（注文書あり)」より転記してください。
工事名称	○	「請求書（注文書あり)」より転記してください。
注文番号	○	「請求書（注文書あり)」より転記してください。
工事担当者	○	「請求書（注文書あり)」より転記してください。
業者コード	○	「請求書（注文書あり)」より転記してください。 **※当説明書を郵送した封筒の宛名ラベルにも記載されています。**
業者名	○	貴社名を記入してください
【明細部】		**明細は費目コードごとにまとめ、『小計』行を挿入し、費目別合計を必ず記入してください。**
費目コード	○	元の「請求書（注文書あり)」より転記してください。
日付	○	納品日、作業完了日等を記入してください。
摘要	○	納品物や工事内容を記入してください。
数量		数量を記入してください。
単位		単位を記入してください。
単価		単価を記入してください。
金額	○	数量×単価を記入してください。 なお、一式項目の場合は金額のみの記入でも構いません。
【費目別小計】	○	摘要欄に【費目別小計】と記入し、費目別合計金額を記入してください。 費目別小計は請求書（注文書あり）の『今回請求額』欄に転記してください。

2. 注文書が発行されていない場合

① 請求書

注文書が発行されていない場合は『**請求書（注文書なし)**』の請求書をお使いください。

② 記入要領

図 3 の記入例、表 3 の記入要領を参考に記入してください。

なお、明細の記入は以下の規則に従ってください。

A) 費目ごとにまとめる。

B) 費目ごとに小計行を挿入する。

図 3. 注文書なし記入例

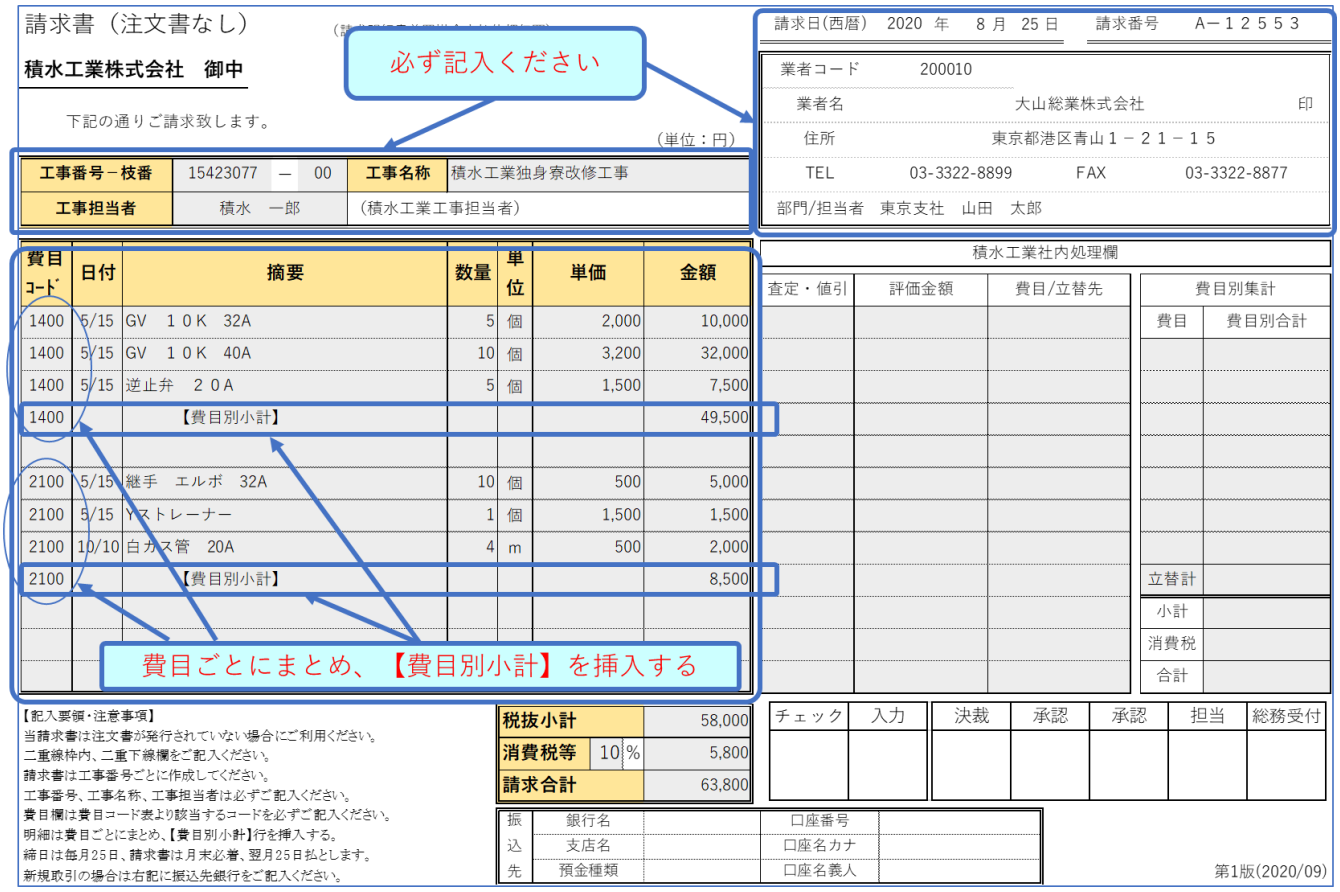

表３．請求書（注文書なし）の記入要領

項目名	必須項目	説明
【ヘッダー部】		
請求日	○	請求日を西暦で記入してください。
請求番号		貴社の請求番号を記入してください。
工事番号 - 枝番	○	弊社工事担当者に確認してください。
工事名称	○	
工事担当者	○	弊社工事担当者名を記入してください。
業者コード	○	他の注文書、支払通知書等を確認するか、弊社工事担当者、総務部門に確認してください。 **※当説明書を郵送した封筒の宛名ラベルにも記載されています。**
業者名／押印	○	貴社名を記入し、押印してください
住所	○	貴社の住所を記入ください。
TEL/FAX	○	貴社の電話、ファックス番号を記入してください。
部署／担当者	○	貴社の部署名、担当者名等を記入してください。
【明細部】		
日付	○	納品日、作業完了日等を記入してください。
費目コード	○	摘要欄に記載した物品や工事内容に該当する費目コードを「表４．費目コード表」より転記してください。
摘要	○	物品や工事内容を記入してください。
数量		数量を記入してください。
単位		単位を記入してください。
単価		単価を記入してください。
金額	○	数量×単価を記入してください。 なお、一式項目の場合は金額のみの記入でも構いません。
【費目別小計】	○	複数費目ある場合は明細を費目順に並べ、費目ごとの小計を挿入してください。図２の記入例参照。
【合計部】		
税抜小計	○	金額の合計を記入してください。
消費税	○	消費税率に応じた消費税額を計算し記入ください。
合計	○	税抜小計＋消費税額を記入してください。

表４．費目コード表

機器類		素材類		工事費	
1000	パッケージ型空調機	2000	弁類	3000	配管工事（一般･消火栓）
1010	ルームエアコン	2010	コンクリート製品・桝類	3010	ダクト工事
1020	AHU・FCU	2020	メーター機器・計器類	3020	角ダクト工事
1030	全熱交換器	2030	その他器具類	3030	保温断熱工事
1040	送排風機	2100	管類・継手(*1)	3040	塗装工事
1050	換気扇類	2110	工場加工管・継手(*1)	3050	計装工事
1060	制気口	2120	樹脂管類・継手(*1)	3060	冷媒配管工事
1070	ベンドキャップ	2130	屋外排水 VP/VU・継手(*1)	3070	搬入据付工事
1080	ダンパー類	2140	スパイラルダクト・継手	3090	屋外排水管工事
1090	ﾀﾞｸﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ･ﾎﾞｯｸｽ類	2200	継手類(*1)	3100	建築関連工事
1100	厨房ﾌｰﾄﾞ類	2210	排水資材	3110	架台・鉄工事
1110	脱臭装置類	2220	集合管継手類	3120	ガス設備工事
1120	冷凍機・ボイラ	2230	区画貫通処理部材	3130	TES 設備工事
1130	冷却塔	2240	ｽﾘｰﾌﾞ・ｲﾝｻｰﾄ材料	3140	消火設備工事
1140	製缶類	2250	支持金物・その他材料	3150	電気工事・リモコン工事
1150	空調関連その他機器	2800	電材	3160	足場架設工事
1300	ポンプ類	2810	照明器具	3170	解体撤去工事
1310	水槽類	2820	配線器具	3180	養生・清掃・雑工事
1320	給湯器・温水器	2830	ケーブル類	3190	ｽﾘｰﾌﾞ・ｲﾝｻｰﾄ工事
1330	消火栓器具	2890	その他電材等	3200	仮設工事
1340	衛生器具・陶器	2900	補助材料・工具	3210	給水引込工事
1350	阻集器・吊桝類	2910	ピーピースルー	3220	排水引込工事
1360	衛生関連その他機器	2920	接着剤	3230	道路本復旧工事
		2960	発電機・資材類（レンタル）	3240	特殊設備工事
		2980	その他補助材等	3250	試験調整費
				3260	通水・風量・AC 試運転
				3300	空調工事(一式)
				3400	衛生工事(一式)
				3500	空調衛生工事(一式)
				3600	労務費

旧注文書用コード	
工事担当者にご確認ください	
1990	機器素材用
3990	工費用

*1 配管および接手類については適切な費目が無い場合は『2100：管類・継手』を選定ください
なお、費目が不明な場合は工事担当者にご確認ください。